

1. 診療科の特徴、特色

麻酔科は主に手術の進行と共に不安定になる患者の容態を医療行為によって生命維持する役目（全身管理）を主に行う診療科です。術中だけでなく術前・術後の周術期管理チームの一員として重要な役割を果たしています。必然的に生命維持に関わる機会が多いことから救急医療・集中治療領域においても活躍しています。また、疼痛管理にも特化しており、術後疼痛はもちろんペインクリニックとして慢性疼痛・緩和医療にも積極的に関わっています。

2. 診療実績（平成 27 年度）

当院中央手術部での平成 27 年度麻酔科管理手術症例は 5859 症例でした。

3. 診療科の体制

長坂 浩（教授）	麻酔科診療部長	臨床麻酔全般、救急蘇生、ペインクリニック
井手康雄（教授）	臨床麻酔全般、	ペインクリニック
岩瀬良範（教授）	臨床麻酔全般、	気道確保、情報処理
中山英人（教授）	臨床麻酔全般、	神経麻酔、心肺蘇生、集中治療
水上 智（准教授）	臨床麻酔全般、	麻酔と循環、重症症例の術前診察
前山昭彦（准教授）	臨床麻酔全般、	小児麻酔、麻酔時の音楽療法
竹内梨紗（講師）	口腔外科麻酔	
西澤秀哉（講師）	口腔外科麻酔	
星島 宏（講師）	口腔外科麻酔	
伊藤直樹（助教）	口腔外科麻酔	
三枝 勉（助教）	臨床麻酔全般、	ペインクリニック（漢方薬併用）、 超音波ガイド下神経ブロック、周術期経食道心エコー認定医
堀越雄太（助教）	臨床麻酔全般	
中村智奈（助教）	臨床麻酔全般	
野木武洋（助教）	口腔外科麻酔	
松本延幸（名誉教授）	臨床麻酔全般、	ペインクリニック
菊地博達（客員教授）	悪性高熱症の研究	
土井克史（客員教授）	臨床麻酔全般、	超音波ガイド下神経ブロック
東 俊晴（客員准教授）	臨床麻酔全般、	周術期止血機能診断、ペインクリニック

4. プログラムの目的と特徴

当院手術部では多数の手術症例を有しており、急性腹症、産科救急などの緊急手術症例も多く、麻酔科医として基本的な知識や技術を習得するのに最適な研修機関です。当院と埼玉医科大学国際医療センターとは相互に補完的な関係にあり、当院では消化器外科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、小児外科などの手術を行い、心臓血管外科、多発外傷、悪性腫瘍手術、脳神経外科などは主に埼玉医科大学国際医療センターで行っています。両施設で研修をすることで、手術麻酔に必要なすべての領域を学ぶことができます。また、川越にある埼玉医科大学総合医療センターも研修連携施設になっており、周産期麻酔などに興味がある場合は研修に行くことも可能です。

ペインクリニックでは1日に約40名の患者数があり、内服治療（漢方薬併用）や神経ブロックなどの治療を行っています。また、代替医療（光線照射療法、鍼灸漢方治療など）にも取り組み、緩和医療を含め、全人的な疼痛治療を目指しています。当院はペインクリニック学会の指定研修施設にもなっており、ペインクリニック専門医の取得も可能です。

集中治療領域に興味がある場合は、埼玉医科大学国際センター集中治療科や埼玉医科大学病院総合医療センターにて集中治療の研修を行うこともでき、集中治療専門医の取得も可能です。

